JISS 国立スポーツ科学センター

Quarterly News Letter 季刊ニュースレター Vol.10・11

JISS

Summer/Autumn 2006

[特集]

第15回アジア競技大会 ドーハ2006 に向けたJISSの活動

平成18年度

「体育の日」中央記念行事／子どもの体力向上キャンペーン

元気アップ子どもスポーツフェスティバル

10月9日、JISSにて開催

たくさんの方にご来場いただき、ありがとうございました。

体育の日の10月9日、「元気アップ子どもスポーツフェスティバル」を文部科学省、財団法人日本体育協会及び財団法人日本レクリエーション協会との共催で開催しました。このイベントは、「体育の日」を記念して、子どもの体力向上を目的に開催するもので、スポーツの楽しさや喜びを体験していただくプログラムとなっています。国立スポーツ科学センター（JISS）での開催が2回目となった今回は、全体で1500人（昨年比150%）もの参加者がありました。

JISSでは、昨年同様、各競技団体から講師の先生を招いて子どもたちを指導していただく「子どもスポーツクリニック」のほか、「元気アップ科学体験コーナー」、「トレーニング教室」及び「ウォーキング教室」を担当しました。

「元気アップ科学体験コーナー」では、普段なかなか体験できないスポーツ科学をより身近に感じていただくことを目的に、（1）低酸素体験、（2）体力測定体験、（3）動作映像フィードバック体験を実施しました。（1）低酸素体験は、JISSにある「低酸素トレーニング室」において、平地（酸素濃度20・9%）から高度3000m相当（酸素濃度14・4%程度）の状態を体験するというもので、親子20人の参加者がありました。（2）体力測定体験は、「体力科学実験室」において、普段JISSが実施しているTSCチェックサービスを体験する企画で、具体的には身長、体重、体脂肪率、骨強度をからだの指標として測定し、筋肉を画像化するというもので、親子31人の参加者がありました。さらに機能評価として、垂直跳びと全身反応時間の測定や世界でも数少ない大型トレッドミルでの歩行体験を行っていただきました。（3）動作映像フィードバック体験は、ボクシング練習場に鉄棒と映像機器を設置し、子どもたちの逆上がり動作を撮影し、体操日本代表選手の模範演技と比較するというもので、親子33人の参加者がありました。

また、「トレーニング教室」及び「ウォーキング教室」においても、正しい姿勢や知識を学習することで、スポーツの楽しみ方が広がったのではないかと思われます。

このイベントを通じて「スポーツ科学」を体験した子どもたちに、スポーツにおける科学の分野がこんなにも密接で重要な存在であることを、肌で感じていただけたら幸いです。

Quarterly News Letter JISS Summer/Autumn 2006

JISS 国立スポーツ科学センター

季刊ニュースレターJISS Summer/Autumn 2006　平成18年11月30日発行（年4回発行）
発行　独立行政法人日本スポーツ振興センター 国立スポーツ科学センター
編集・発行者　笠原 一也
〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1　http://www.jiss.naash.go.jp/